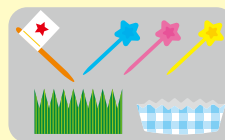


好きなおかずを考えて、カラフルでたのしい本物そっくりなお弁当をつくらう。

本物そっくりにお弁当をつくらう

作品づくりのオススメポイント

- 絵の具を紙粘土に練り込んでカラフルな色粘土をつくります。
- 色粘土を使う事により、乾燥後の着色の時間が短縮できます。
- バランやピック、カップなど本物を使うとさらに、かわいい仕上がりになります。



用意するもの



- ずこうねんどつくピタ(L)
- お弁当ケース
- カップなどの飾り
- 粘土板
- ヘラ
- 絵の具



粘土に絵の具を混ぜて好きな色をつくります。

POINT チャック付きの保存袋は粘土を入れておくのに最適です。



黄緑色と白色粘土をマールにまぜ、のばしてレタスにします。

POINT ヘラなどで細く切れば、キャベツの千切りになります。



茶色粘土を丸めてハンバーグにします。

POINT 赤色をケチャップのようにして本物そっくりに仕上げましょう。



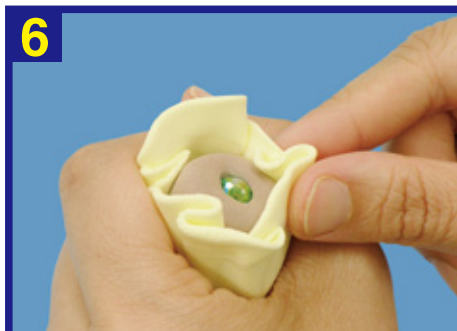
赤色粘土に切り目を入れ、たこウインナーにします。

POINT たこ以外にもカニなどの飾り切りをしてみましょう。



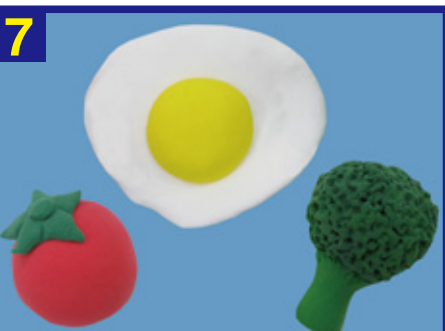
オレンジ色粘土を細く伸ばしてスパゲティーにします。

POINT ビーズをのせれば、キラキラ光る具材になります。



うすくのばして具を包み、しゅうまいにします。

POINT 包み方を変えればギョウザや肉まんなどになります。



ミニトマトや目玉焼き、ブロッコリーなどもつくります。

POINT お弁当のおかずはお母さんなどに聞いて調べておきましょう。



つくった中身をお弁当ケースにつめて完成です。

POINT 色々な飾りつけて華やかなお弁当に仕上げましょう。

